

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	34 広島県
市区町村名	34210庄原市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
34210庄原市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	勤務時間外の在校時間が45時間以下の市内教職員の割合は、令和6年10月時点で67.0%である。昨年度と比較すると割合は増加しているが、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減は依然として課題である。	「学校における働き方改革取り組み方針」を策定し、計画的・効率的な業務遂行に向けた取組を進めている。	本市においては、各自治振興区が地域学校協働活動推進員の役割を担っている。ほぼすべての学校において、自治振興区職員が、学校運営協議会委員となっていることから、学校運営協議会の充実により、地域人材の活用や、学校と地域の連絡調整等を行い、教職員の業務負担軽減を測る。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教職員の業務負担が軽減する。	勤務時間外の在校時間が45時間以下の教職員の割合	67	%	70	72	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 全ての学校で学校運営協議会の充実を目指し、学校・家庭・地域の役割分担を明確にするように機能化を図っている。今後は、一層の学校運営協議会の機能化により地域人材の活用を進め、教員の業務負担軽減を図る。	学校における働き方改革取組方針
34210庄原市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	大学生ボランティアチームを派遣するワクワク学び隊などの、多様な体験活動の機会の減少が昨年度と同様に課題である。	放課後子供教室・地域未来塾実施自治振興区に体験活動の周知及び情報提供を行っている。	放課後子供教室・地域未来塾実施自治振興区との連携を深め、ワクワク学び隊の活用や資料館・博物館見学など、多様な体験活動を年5回以上行う。	子供たちの体験活動に対する興味や関心の向上。	体験活動（ワクワク学び隊・博物館・資料館見学）の実施件数	2	件	5	3	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 目標値を下回る結果となったが、高放課後子供教室や総領放課後子供教室では郷土資料館、自然科学博物館の見学を行い、子供たちにとって有意義で多様な体験活動を実施することができた。今後はこの体験活動をより多くの子供たちに参加してもらうよう、周知を行う。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。